

研究課題名：子宮頸癌に対する免疫チェックポイント阻害薬の有効性と安全性の検討

1. 研究の対象

2014年12月1日から2023年11月30日に当科で治療を受けた子宮頸癌患者様を対象とします。免疫チェックポイント阻害薬の有効性と安全性を評価するため、比較として免疫チェックポイント阻害薬を使用していない患者様についても調査対象とします。

2. 研究目的・方法

子宮頸癌の多くはヒトパピローマウイルスの持続感染により発生することがわかっています。ウイルス陽性のがんでは、複数の原因による免疫機能不全が起こっているとされ、免疫チェックポイント阻害薬の治療効果が期待されています。近年、進行再発子宮頸癌に対して、免疫チェックポイント阻害薬であるペムブロリズマブ(商品名 キイトルーダ)、セミプリマブ(商品名 リブタヨ)が保険承認され、実臨床で使用されています。今回、当科におけるこれらの薬剤の使用状況を把握し、有効性と安全性を明らかにすることで、今後の子宮頸癌の治療に役立てることを目的としています。

方法：電子カルテを用いて以下の情報を調査いたします。

研究期間：倫理審査委員会承認日 ～ 2024年12月31日まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

臨床情報(年齢、組織型、進行期等)、画像所見、遺伝子検査(マイクロサテライト不安定性検査、PD-L1検査、遺伝子パネル検査等)施行の有無と結果、治療内容、治療の効果と副作用、予後情報等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

当院研究責任者：

新潟県立がんセンター新潟病院 婦人科

当院研究責任者：菊池 朗

連絡先：新潟市中央区川岸町2丁目15番地3

TEL：025-266-5111 (大代表)